

盛地申5号

「2021年3月ダイヤ改正」に関する検証申し入れ

JR東労組盛岡地本は「2021年3月ダイヤ改正」実施以降、安全・安定輸送を職場から担ってきました。「2021年3月ダイヤ改正」では、就業規則第48条に基づき、必要な教育を行ったうえで順次、担当業務間の相互運用を行うこと等、新たな業務が増え職場では苦勞しながら施策を担っています。また、新型コロナウイルス感染症対策を施し、安全・安心な車両の提供や、サービス品質の向上にも取り組んできています。しかし、職場ではまだまだ課題が山積していることも現実であり、改善することによって社員の「安全・健康・ゆとり・働きがい」が向上することに繋がります。

次期ダイヤ改正に向けて成果と課題を確認し、課題を改善することによって更に輸送品質の向上とサービスレベルの向上、そして安全・安定輸送の確保をするために申し入れを提出しました！



申し入れ項目



1. 八戸運輸区の相互運用における車掌業務についての訓練内容の成果と課題を明らかにすること。
2. 八戸線白銀駅待機場所の工事スケジュールを明らかにし、早急に設置すること。
3. 八戸線鮫駅の折り返し時間を基本10分とすること。
4. 盛岡運輸区車掌103行路の642Dが遅れた場合、盛岡での3048Bが不接となるため、乗換時間7分へ拡大すること。
5. 盛岡運輸区車掌201行路と、盛岡運輸区運転士51行路の花輪線荒屋新町駅での1923D分割作業の作業時分を5分増とすること。
6. 盛岡運輸区車掌105行路の1940Dの花輪線大館発時刻を下げるか、上下交換の見直しを行うこと。
7. ほっとゆだ駅の上り1番のワンマンミラーと停止位置目標を整備すること。
8. 3730Dの多客期輸送や冬期輸送における3両以上の編成でのワンマン運転の考え方を明らかにし、実施する際は、必要な教育を行い安全を最優先とすること。

課題を明確にして来年のダイヤ改に活かそう！